

# 会報 No.319



## キャリア・コンサルタント

2021年（令和3年）9月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3  
小川町北ビル 8F

Tel: 03-3256-4167 (代表)

直通電話：営業本部 03-6821-7544

：外国人材受入事業部

03-6826-7789

Fax: 03-3256-4168

E-mail：[会報編集部] henshu@ccco.jp

[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[営業本部] eigyo@ccco.jp

URL：http://www.occ.or.jp

http://www.ccco.jp

編集長：田中 努

編集者：平松靖弘 影山和子 大野長壽

中野 忠 福田秀樹

---

### 1. コロナ情報 (11)

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

### 2. 中小企業診断士と更新研修

顧問 榎木 義彦

### 3. デザイン思考で問題解決に取り組む

ことばワークス 代表 金子 元一

### 4. こころの落とし文 (第1回)

国民学校

田園 中児

### 5. 事務局だより

事務局長代行 田中 努

一粒万倍

---

(特別寄稿 第 11 回)

## 1. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳孝彦

全国新規感染者数が 1 万を超えた 2 万を超えたといっているうち、2 万 5 千を超えてもそれほど大騒ぎになっていない程の感染爆発となってしまいました。なかでも東京、沖縄の人口 10 万当たりの感染者数を見ると、1 週間で 200, 300 人を超え、1000 人に 2 人 3 人が感染していることで、大事件なのですが、政界であれメディアであれ、それ程の真剣さが感じられません。オリンピックは終わりましたが、それ以後感染者が増え続けている状況を見無視してパラリンピックを強行するので信じられません。しかも学童たちに観戦させようというのです。何としてでも実効再生産数を下げないことには歯止めが利きません。ターゲットは外出、会食です。人流の 5 割、7 割減です。

ついに怖れていた医療崩壊が始まりました。自宅療養となっていた人が次々亡くなっています。早産で新生児が亡くなった事例などは、まさに医療崩壊そのものです。後述しますが、コロナ病棟への転換で、一般病棟もなかなか入れなくなっています。皆さんを含め、真剣に対応するよう社会に発信してゆきましょう。

(2021 年 8 月 21 日 記)

\*下記の通り本人より連絡がありました

8 月初めごろからウォーキング時の息切れが出てきて、折からの猛暑で家の中の階段トレーニング(下り主体の)をしていましたが、酸素飽和度が落ちてきて、19 日の定期外来受診時に『即入院』となり、前回まで入院の病棟がコロナ用に変換されているので、ワンランク上の個室(値段だけ高く内容は全く変わらない)に 1 室だけ空いていて、只今室内監禁状態です。

プレドニンが順調に減量されてきたのですが、少し早かったのでしょうか、間質性肺炎のぶり返しです。経鼻酸素を始めましたが、プレドニンを 3mg から 50mg に一気に増量して酸素飽和度は回復し、経鼻酸素からは解放されました。

新型コロナ肺炎の第 5 波の感染拡大は凄まじいまま続いております。決して明かりが見えて来たとは言えません。週内変化がありますので 7 日単位(あるいはその中の 1 日単位)で比べないと分かりませんが、まだ増え続けています。当初は高齢者感染の割合が多かったのですが、デルタ株への変異とともに、ピークが 50, 60 歳代に移り、30 代、さらに 20 代へと移行しています。怖いのは感染しにくいと見られていた幼小児の感染が急増していることです。子供の一斉検査で高い率で陽性が認められたとの報道もあります。当然ながら小児への重症化治療施

設、設備など全く手が付けられていません。悲劇的な結果となりませぬよう祈るばかりです。

子供たちへの拡大の大きな原因は、大人の軽症感染者の家庭内療養（待機）政策にあります。狭い日本の家屋ですから、感染したお父さんを隔離するなど出来る訳がありません。お母さん、子供たちへと家庭内感染を広げた結果だと思えます。昨年コロナ情報でも述べていますが、感染者が家庭内に留まることは非常に危険です。子供同士の集団感染へと発展します。逆に子供から親への感染ケースも報道されています。子供たちを守るためにも、専用病院、隔離・観察施設の重要性を強調します。

TVのインタビューで「私達は罹らないと思っていた」と答えていた20代の女性がいましたが、街中の人出を見ても分かりますが、緊急事態だ、蔓延防止だなどの制約に全くとらわれずに出歩いていたのでしょう。国のGo-Toキャンペーン、オリンピック実施政策などからは、誤った楽観主義が広まってきたのでしょうか、とんでもないことです。路上飲酒などが放置されているのは、3流以下の国家でしょう。前報でも医療崩壊が始まったと指摘しましたが、やがて患者が病院前に群がり苦しんでいるインドの事情を皆さんTVでご覧でしょう。日本もあのようになりかねません。

### ◎政治の対応すべき対応

コロナ病棟増設ばかり強調されていますが、コロナ病棟増設はそう簡単には行かないのです。政治的プロパガンダの色彩が強いのですが、施設の広さ、設備、医師・看護師・技術者などの人材、それら全てが足りていないので、これ以上は無理な要求に近いと思えます。一般病棟をこれ以上締め付けてがん、心臓病、外傷などの治療を疎かにすべきではありません。

入院治療のできない患者に観察-待機施設を増設すべきです。中国、米英などで素早く建設されてそれなりに機能したようで仮設病院、野戦病院を日本も見習うべきと言われます。しかし日本の現状では無理と思えます。病院としての治療は出来なくとも、毎日診察だけは行い、重症化をいち早く見つけて手配しなければなりません。酸素治療も可能となるでしょう。イベントホールや体育館などを利用すべきですし、昨年から本情報でも主張していたようにオリンピック選手村の活用です。昨年オリンピック1年延期が決まった時点で踏み切っていたら、この1年弱で随分事情は違っていただろうと考えますが、過ぎたことは仕方ありません。信じられないパラリンピックが進行中です。あと1週間、終わり次第直ちに移行すべきです。

新感染者数のカーブは人流のカーブから1~2週遅れてきれいに一致しています。緊急事態宣言はオオカミ少年ではありませんが、完全に機能していません。殊に第5波では、山の日連休、お盆、オリンピック、パラリンピックなどの逆方向政策と重なり、効果がありません。為政者自身が守っていないような会食自粛を唱えても意味がありません。先述のTVの女性の発言などないように、本気で自粛方向に導くべかです。

## ◎医療側への提言

コロナ病棟増設にご協力いただいている施設にはご苦労様ですとしか言いようがありません。引き続き頑張ってください。

入院施設のない開業医の先生は、軽症患者待機・観察施設への診察、協力をお願いします。医師会として正式に表明すべきです。

眼科、皮膚科など普段感染症に関係していない先生は、ワクチン接種で大いに活躍してください。学校健診などで予防接種はお手の物です。ワクチン接種政策の最初からこのように分業すべきだったのです。

これは政治側かもしれませんが、発熱外来ももっとオープンにどこに行ったらよいのかPRすべきです。

## ◎皆さんに

デルタ株は武漢型、イギリス型などとは別のビールスになってしまったかのごとき性格です。感染力は一桁違いますし、対応年齢層も異なっています。重症化率も明らかに高くなっています。エアロゾル感染で天然痘並みに感染機会があるともいわれます。十二分に注意してください。

とはいえ、新型コロナビールスですからワクチンの予防効果は大いにあります。接種者の感染者は一桁以上低いようですし、重症化率も低値です。接種後抗体は時間とともに低下することをメディアは喧伝していますが、これは当たり前のことで、100%持続するものではありません。また低値となっても、ビールスが入ってくればブースター効果で再上昇します。早く若い人たちに行き渡って欲しいものです。

今の趨勢ではまだまだ長引くものと思われまます。精神的にもつらい毎日ですが、罹らないよう頑張りましょう。(2021年8月29日記)

今までは非医師を主体に『コロナ情報』を1年近く発信してきましたが、現時点でどうしても医師や官僚に主張、提言したく思います。

菅首相は『コロナ対策に専念したく自民党総裁選に出馬しない』と表明しました。文字通り受け入れましょう。プラスもマイナスも含めての安倍・菅政権でコロナ対策を担って来ての総決算を示し、次期首相にバトンタッチしようといういわば引退に当たっての遺言に相当する重い決意と思います。

昨年春からの『コロナ情報』で発信してきたことと一部重なりはしますが、現時点で以下の文書のように考えます。

①政府、官僚、日本医師会、全国大学医学部長病院長会議、全国病院関連団体等代表などが一堂に会する緊急会議を持ち、専門家の意見を尊重すべきです。従来この姿勢が見られなかったのが残念で仕方がありません。

## ②CoV-2 ウィルスの徹底的検査

最近の新規感染者数は減少傾向にあります。しかしウィルス保有者が正しく捉えられているとは言い難い現状です。接触を疑われても全員検査とはなっておりません。陽性者の分子は分かっているにもかかわらず分母が分からないのではどうしようもありません。少しでも疑わしい人、希望者、出来ればワクチン未接種者には全員 PCR 検査を行うべきです。新規戦闘機購入を 1 機減らすだけで賄えます。

③デルタ株は勿論ですが、ラムダ株、ミュー株など新変異株についての分析、対策が採れていません。これでは今日現在の新規感染者数が減っているからと言って決して安心できません。下げ止まりとなって、やがて次の第 6 波がやってきますし、もっと恐ろしいことになるかもしれません。

## ④ワクチン情報公開

何時、どれだけの量が各自治体に配布できるのか。正しい情報、スケジュールが示されなければ国民は安心できません。渋谷での例のように少数では話にならないし、予約制度も明示しなければなりません。このことは既に 1 月に指摘しています。ワクチン接種開始とともにあるべきものです。

## ⑤医療側への注文

①での会議で医療側の新型コロナに対する住み分けをはっきりと打ち出し、国民が安心して一般疾患治療、コロナ治療を受けられるよう、国民に明示すべきです。

- A 重症者受け入れを含めて対応 コロナ病床増設は限界でしょう
- B 中等症主体に受け入れ 同じく増床は限界にきているでしょう
- C 入院は出来ないが軽症者、中等症に対応 発熱外来
- D 臨時医療仮施設への協力
- E ホテル、選手村など待機収容施設への協力 酸素センター
- F 在宅患者への対応 (家庭内感染予防のため本来自宅待機は不可)
- G ワクチン接種への協力 (校医として経験豊富)
- H 新型コロナ以外の治療に専念

これは非難されるべきことではありません。コロナ以外にも重傷者、要治療者は数多くいます。新型コロナ死亡者は累計 16.4 万人 (1.5 年) ですが、癌による死亡 34.4 万人/年、心血管系死亡 18 万人/年、東北大震災死亡行方不明 16 万人弱です。これらの人の治療を疎かにしてよい筈はありません。

⑥緊急事態宣言、蔓延防止策などを出しても、もう効果は期待できませんが、一応の基準は必要です。感染対策を確りしたレストラン、食堂は人数を制限して営業認可してよいと思います。1 組の人数は 5 人程度に増やしてもよいのでは。アルコールは楽観ムードとなってしまうのでもう少し我慢せざるを得ないでしょう。

⑦国民は不織布マスクをつけて出来るだけ外出自粛 (近隣県までは可とする)

\* ⑥⑦はウィズコロナへの段階処置を考えました。

(2021 年 9 月 7 日記)

## 2. 中小企業診断士と更新研修

顧問 榎木 義彦

CCKの組合員・賛助会員の方で、「中小企業診断士」という名前を「聞いたことがない」という方はほとんどないと思いますが、「それがどういう資格か」まして「更新研修とはどんなものか」ということになる、ほとんどご存じないと思います。

「中小企業診断士」とは、法律上の国家資格として、「中小企業支援法」第11条に基づき、経済産業大臣が登録するもので、「弁護士」「税理士」「公認会計士」のように独自の法律を有するものではありません。

私が中小企業診断士の資格を取得したのは平成元年（1989年）ですが、資格を取得したら永久に保持できるものではなく、自動車の運転免許のように5年に1回の資格更新審査があり、これに外れると資格を失う仕組みになっています。ただ更新のためのハードルはそんなに高いものではなく、毎年の更新研修（1回4時間）を受けることと、5年間に30日の中小企業指導実績（通常行うコンサルタント業務で可）をクリアすれば、よほどのことがない限り更新されます。

しかし、長引くコロナ禍の中で様相が変わってきました。これまで東京都ではソラシティ・カンファレンスセンター（御茶ノ水駅前、日立本社ビル跡）等で年間30回程度行われていた集合研修が10件程度と大幅に削減され、残りは自宅等でのリモート研修となっています。

リモート研修は一見自由度があり研修会場に足を運ぶ必要もないので良さそうですが、かなり厳しいチェック・監視システムが組み込まれているためかえって煩わしいので、論文提出に切り替えることとしました。

論文提出は課題二題が与えられそれに対し自分の考え方を1500字から2000字にまとめるもので、集合研修との間で選択できるようになっているものの、集合研修の方が手がかからないためこちらの利用者は僅かでしたが、今年をあえてこちらを選択することとしました。資格取得以来初めての選択です。

提出論文は本来私自身のものでありますが、ワードで作成してあるので、みなさんに「中小企業診断士」の資格の一端をご理解いただくことと、内容についても何らかのお役に立てばと思い2回に分けて掲載することとしました。

## 課題 1 (1)

コロナ禍の中でテレワークの重要性が増していると言われてますが、その実効を上げるために中小企業診断士としてどのような取組が出来るのか、あなたの経験も踏まえて答えて下さい。

### 課題 1 (1) の解答

私はサラリーマンとしての 32 年間で機械メーカーに勤務し、独立後はコンサルタントとして数多くの中小企業の経営に関与する中で長らく関与したのが建設関連業者約 30 社からなる事業協同組合とその構成員である建設事業者である。

一方でテレワークが話題になるようになってから最も向かないとされて来たのが、小規模（従業員 20 人以下）のメーカーと建設業の現場作業である。なぜ向かないかという、「ものづくりや建設現場作業を自宅に持ち帰って行うことはできない」という考え方による。これは「テレワーク＝在宅勤務」という考え方にとらわれ過ぎているからであり、テレワークが本来持つ「情報通信技術を活用して、企業と離れたところでも同等の業務ができる環境づくり」という考え方がきちんと理解されていないためと思われる。そこで私のコンサルタント経験を基に、「小規模建設業の現場作業」に範囲を絞ってテレワークの可能性を検討することとした。

「建設業の現場作業」は建築主の希望するところで新築、リフォーム等の作業を行うのであるから、その作業そのものを他の場所で行うことはほとんど不可能であるが、実際にはかなりの時間を費やしているのに見落とされたり過小評価されたりしがちなのが、打合せ、報告、関連書類の作成等の間接業務である。こうした間接業務を主体に「建設業の現場作業」のテレワーク構築の手順をまとめると次のようになる。

#### 1. 現状の把握

中小企業特に小規模事業の場合、現在の仕事は「どこで、どの様に、いつまでに、どれだけの人と金をかけて行われているか」が会社としてきちんと把握されておらず、社長が言い出したときに或いは現場責任者（担当者）が必要と判断した時に行われたり、事故とか問題の発生した時に急遽行われたりすることが多い。朝礼や定例の業務報告会を行っている会社も多いが、マンネリになっておりこれとは別に個別の社長報告を頻繁に行っているケースもみられる。テレワークをおこなうには、まずこの現状の把握をタイムリーに行う仕組みづくりが必要である。

## 2. テレワークを行うにあたっての留意点

何事もそうであるが、小規模事業の場合社長の決断が全てである。社長自身がテレワークというものをキチンと理解し、テレワークを行うことの得失をよく考えて着手することが必要。次に大切なのは、従業員に対する信頼性を高めることである。これまで「顔を見ないと心配」という考えが多く、離れた場所で行う業務には会社（特に社長）への報告のためこまめに来させたり、社長が始終現場に出向くなど本来の現場作業ではないところに時間を食われるケースが多かったため、これらのかかなりの部分で顔を合わせなくても出来るテレワークにすることにより、間接業務の削減にもつなげる。また同時に現場担当する社員（責任者）に対する権限移譲を進めることも忘れてはならない。

## 3. 具体的な対策の提案

まず独自のスマートフォンアプリを構築し、作業状況を逐次報告させることにより、会社に出て来る時間を大幅に削減することを提案する。特に写真を送らせることにより報告を受ける側に臨場感を持たせること、報告書の作成の削減効果も狙う。なお、このスマートフォンアプリの構築は社員の片手間では難しく多少費用は掛かるが、専門業者の手を借りることがその後のメンテナンスも含めて有効である。

一方、こうしたことを実現するためには並行して行わなければならないこととして、「徹底した業務分析と不要不急業務の洗い出し」「仕事の見える化、マニュアル化」「管理業務との連動とデジタル化」「朝礼・夕刻の業務報告等の縮小」「タイムスケジュールの作成（半年間程度で実行可能性のあるところから）」などが上げられるが、いずれにしても社長の一存ではなく、現場当事者も参加させて提案させることも大事である。

なお、これらは小規模企業では「あるべき論」を言ってもだめで、実行可能な提案と実行のためのサポートをすることが肝要で、ここに中小企業診断士としての支援の有効性があると考えられる。

(つづく)



### 3. デザイン思考で問題解決に取り組む

ことばワークス 代表 金子元一

最近ビジネスの現場で良く聞くようになった「デザイン思考 (Design Thinking)」とは果たして何でしょう。一般的に「デザイン思考」とは、企業のサービスやプロダクトの先にある「お客様」を理解し、そこから企業がある仮説を立て、お客様の為に自分たちができることを実践する考え方だと言われています。つまり、デザイン思考の原則の中でも一番重要視されるのが、「ユーザー中心主義」という原則でしょう。実は私も「デザイン思考」を初めて聞いた時、これがスゴイのかあまり理解できませんでした。ユーザーを中心に考えること等、どこの会社もやっている事ですし、個人レベルでも「ユーザーを中心に置いているかどうか」と聞かれた時に「No」と答える人はほぼ居ないとも思います。

しかし、ここで言うユーザー中心主義とは、ユーザーの欲しいものを聞き、その通りに行う「お客様第一主義」の考え方は少し違います。例えば、アメリカの大手自動車メーカー、フォードモーターの創設者であるヘンリー・フォードはこんな名言を残しています。

“If I had asked people what they wanted, they would have said faster horses.”  
もし私が、人々に何が欲しいかを聞いたら、彼らは「より早い馬車」と答えただろう・・・

実は、彼はユーザー個人の要望が聞きたかったのではありません。彼はユーザーの言動から、彼らの欲しいものを深く分析して（仮説を立てる＝イシュードリブン）再定義しようと試みたのです。そこで彼が導き出した結論は、「より早い移動手段」という、より深い深層的な要望だったという訳です。これで、なんとなくご理解いただけたでしょうか？

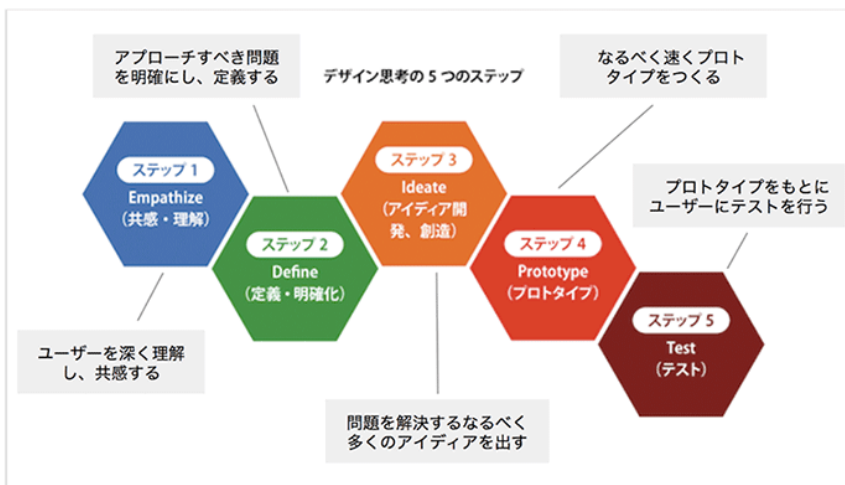
ユーザー中心主義は、ユーザーよりもユーザーのことを深く理解することで、ユーザー自身も気づいていない問題を解決してあげることなのです。だからこそ、他社との差別化ができ、イノベーティブなプロダクトへと繋がるのだと思います。

#### 1. デザイナーの観点で真理を探究するプロセスです

自分の欲しいものは、実は自分が一番わからないものです。だからこそ、デザイナーというプロフェッショナルが第三者の目でそれを明確に提案してあげるのは、「あなたの欲しいものは、本当はこれではないですか？」・・・とね。デザイン思考とは、その考え方のプロセスを体系化したものだとも言えます。

## 2. プロセス重視は、プロセス厳守とは違います

デザイン思考の原則の中で、本当の意味で最も理解するのが難しいのが「プロセスを重視する」ということです。デザイン思考といえば、下図の5つのプロセスを思い浮かぶ人も多いのではないのでしょうか？良く使われる以下の図は、デザイン思考の考え方を実際の課題解決に応用するときのプロセスを体系化したものです。



このようにはっきりとプロセスが定義されていると、このプロセスをフォローする事にどうしても気持ちが偏ってしまいます。ところが、デザイン思考における「プロセスを重視する」ことは、プロセスを守ることはなく、「プロセスを意識する」ことを意味していて、このプロセスをこの順番通りに行えと言っている訳ではありません。

実際は、このプロセスを行ったり来たりすることもあれば、全く違うプロセスに飛ぶこともあります。それでもデザイン思考の原則を重視した上で取り組んでいるのであれば、何も問題はありません。一方で、今どの段階のフェーズを行っているのか？を意識することはとても重要です。なぜなら、ユーザーに深く「共感」するフェーズと素早くプロトタイプを作るフェーズでは、重視する姿勢が異なってくるからです。

### 3. デザイン思考はメソッドではなく、「考え方」そのものです

デザイン思考は、それを実際の問題解決に応用する際に体系化した上図の5つのステップに紐づいているため、「メソッド（やり方）」と捉える方も多いのですが、デザイン思考は読んで字のごとく「思考」であり、「考え方」そのものを指します。

また、デザイン思考は、身近な課題解決に応用できる「考え方」であるため、活用できる場面はプロダクト開発のみならず、身近な人の悩み相談や恋愛などあらゆる場面の課題解決に活用できる考え方でもあります。

### 4. ソリューションではなく、問題定義で差別化する

実はこれらの誤解は、デザイン思考を活用したプロジェクトを進める中で、良く直面します。

例えば、深くユーザーに共感し、本質的（だと感じられる）ユーザーの課題を定義し、多くのソリューションの中から、ベストなものを選んで形にして・・・全て上手くいったと思ったのに・・・出来上がったソリューションは思ったほど良くなかった…こんな例は良くあります。それはつまり、「凄く画期的なアイデア」に見えないという残念な事実です。

しかし、ここで落ち込む必要はありません。なぜなら、デザイン思考を活用したプロジェクトで重要視すべきは、導き出したソリューションでなく、定義した問題の方なのです。実際問題「それは本当に画期的なソリューションだ！」等と言われるようなプロダクトやサービスを作り出すことは難しい事です。

更に言えば、そのソリューションが画期的かどうかは、ユーザーにとってそこまで重要では無いのです。なぜなら、画期的なソリューションであっても、自分の課題を解決してくれないプロダクトにユーザーは無駄なお金を払いたくないからです。それより、前回で解説した VUCA (Volatile 変動する、Uncertain 不確実な、Complex 複雑な、Ambiguous 曖昧な、という意味を現す造語) と言われるこの時代に、ユーザー自身も気づかない問題を探し当てることの方に、実は大きな価値があるのです。新規事業が差別化すべきポイントは「そのアイデアは画期的だね！」というソリューションではなく、「その目の付け所は画期的だね！」という事なのです。

### 5. ニーズの広さではなく深さが重要

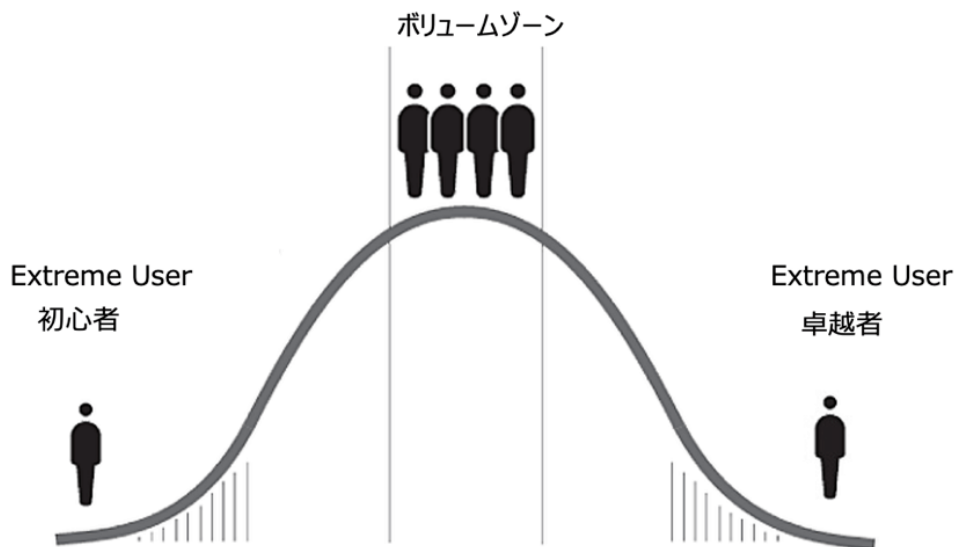
マーケティングを手掛けたことのある人にとって、最も「デザイン思考」が掴みづらいところであり、理解し難いのがこの点だと思います。従来のマーケティングの考え方では、いかに広いパイが取れるかを目指すことが圧倒的に多いです

から、当然ながら多くの人が持つニーズを探し出すことに注力し勝ちです。一方デザイン思考では、ニーズの広さよりもニーズの深さを優先することが重視されます。つまり、「浅く広いニーズ」よりも「狭く深いニーズ」を重視する思考方法です。

## 6. なぜ「狭く深いニーズ」を重視するのか

デザイン思考でよく活用される「エクストリーム・ユーザー・インタビュー」を理解すると分かり易いと思います。「エクストリーム・ユーザー・インタビュー」は、あえて「とても極端な人」をインタビューすることによって、多くの人が抱えている潜在的なニーズをあぶり出す手法です。

### 「極端なユーザー」を観察することも重要！



例えば、もっともよく使われる「エクストリーム・ユーザー・インタビュー」の例として、台所用品の例が上げられます。一般的に台所用品のターゲット層は主婦・主夫となりますが、ここであえて年齢的にも利用頻度も極端に異なる「子供」にインタビューをしてみます。すると、子供は台所用品を使うのに余りにも握力が足りないことが分かり、「握力がなくても使えるものが良い」という別のニーズが見えてきます。

更に、「握力がなくても使えるものが良い」というニーズは、大多数の主婦・主夫も抱えている問題であるという結論が導き出されます。

本来のメインユーザーに「何が欲しいか？」を聞いても、握力が必要であるという不満点に慣れ過ぎ、握力を本来のニーズとして認識していない場合が多いのです。

このように、「極端」なユーザーが持つ「狭く深いニーズ」に注目することで、実は多くの人に共通するニーズが見えてくることがあります。そのため、デザイン思考では、ニーズの広さよりも深さを重視するケースも多々あるのです。

## 7. デザイン思考の企業改革を目指す

最近では、上記のようなモヤモヤを一瞬でスッキリさせてくれる、新たなスタートアップ企業やデザイン会社も増えつつあります。企業に対するコンサルティング分野でも同様に、デザイン思考を自社の提案に積極的に取り入れようとする傾向は見受けられます。

デザイン思考の力を信じ、お客様のグローバル事業開発、新たな事業コンセプトや、将来を見据えた新たな企業ビジョン再創出等々、可能性は広がると思います。

## 8. 社長に仕えるより、企業のビジョンに仕える行動を意識する 自分たちのターゲットを自ら決めるといふ、新たな企業のあり方

当然ながら正しい企業理念に基づいてモノを作る努力も必要です。しかしながら、自分たちの理念やビジョンをお客様に伝える努力も、実はとても重要なことだと思います。

コロナ禍をきっかけに、世界中の企業活動における業務内容や価値が大きく変化している様に思います。

例えば、弊社のクライアントでもある NTT 系の ERP 企業では、ビジョンや理念などを含め、「デザイン思考で、クライアントに様々な提案ができる企業」として、業態シフト&業務刷新しようとしており、その結果として、「トップに仕えるより、ビジョンに仕える」をスローガンに、自分たちのターゲットを自ら決めていく挑戦的な試みに取り組んでいます。

パンデミックで世界中のあらゆる価値観が見直される中、あらゆる可能性が試される時代に突入しようとしています。これは当然、スクは伴うも、あらゆる企業にとって大きなチャンスでもあると、信じたいですね。

## 4. こころの落し文 第1回

### 「國民學校」

田園中児

昭和16年(1941年)4月から、当時の尋常小學校が「國民學校」と改められ、いよいよ戦時体制に入った。その前年の9月27日には独逸の伯林で「日独伊三国同盟」が調印された。新入生は「今日も学校嬉しいな、國民學校一年生」と歌いながら張り切って学校の門を潜った。そして、昭和9年(1934年)生まれの子供たち(早生まれを含む)が、唯一の國民學校入学・卒業生となった。

昭和16年の12月8日に我が海軍船団はハワイの真珠湾に奇襲攻撃をかけ、米國相手の「大東亜戦争」が始まった。戦後は「太平洋戦争」と呼ばれるようになった第二次世界大戦の幕が切って落とされたのである。私は昭和11年(1936年)生まれで、昭和18年に國民學校入学、戦後の昭和24年(1949年)の小学校卒業である。

最初に入学した学校は東京市から東京都になった足立区立「千壽第八國民學校」であった。入学時に立ち寄った学校前の文房具店で購入した「鉛筆」はまだしも「消しゴム」は人造の柔らかいもので使い物にならなかった。既に物資不足が至る所で始まっていたのである。父親の仕事の関係で、一年生の二学期からは大森区立「池雪(チセツ)國民學校」へ転校した。二年生までは警戒警報や空襲警報のなか、何とか普通の授業が受けられた。昭和20年(1945年)4月、三年生になると今までは、上級生に課せられた学童疎開が、三年生まで下りて来て、学級閉鎖となったのである。

私は、五月になって集団疎開ではなく縁故疎開で、秩父の山奥の農家の一室に、母親と就学前の弟とともに住まいを移し、そこで終戦を迎えたのである。幸い大森区の自宅は戦災から免れ、10月には東京に戻ることが出来た。しかし、池雪國民學校は焼けて跡形もなくなっていた。急造の寺子屋のような一室ですべての学年の授業が行われており、頭からDDTを掛けられながら、三年生は火木土の午前中の授業であった。

三年生の三学期になると焼け残った別の国民学校に間借した教室で、二部授業が始まり教科書に墨を塗るのが一仕事になった。しかし、嬉しかったのは電車通学となったことである。昭和22年(1947年)4月の五年生から新しく6・3・3・4制となった池雪小学校の新しい校舎で、男女共学の授業を受けることが出来た。担任の先生も師範学校を出たばかりの新人で、五・六年生時は、空襲もなく落ち着いた環境での学校生活を送ることが出来た。運動は軟式野球、ドッジボール、跳び箱と水泳(プールがあった)ぐらいで、野球のグローブは布製であり、外野手は素手で守っていた。(つづく)

## 5. 事務局だより

事務局長代行 田中 努

●暦の上で、7日は白露で「草に露が下りて、白くなり、燕が帰り、雁が来る」季節です。今年の夏は全国的に「線状降水帯」が蔓延り、各地で大きな水害を引き起こしました。真夏にも拘わらず、肌寒い日も多く、梅雨が何回も来たような感じでした。地球温暖化の気配がますます顕著になってきたようです。

●一方、関東地方では気象庁より、9月初めに「低温注意報」が発令され、最高気温も25℃に届かない日が続いています。9月6日には平年より25日も早く富士山の「初冠雪」が記録されました。このため本人が気付かず、何となく怠いと思っていると、「夏風邪」に侵されていることがあります。皆様、健康に注意しましょう。

●コロナ禍において、会議室の使用方法が代わって来ました。以前は各種の会議や打ち合わせが頻繁に行われていましたが、最近では「テレワーク会議」が中心になっています。日本テレワーク協会による「テレワーク」に為の対面会議が行われているという現象が起こっています。

### ●9月の行事等の予定

- 9日（木）BCセミナー（10：00）
- 11日（土）BCセミナー（10：00）
- 10日（金）BCセミナー（オンライン）（13：00）
- 13日（月）BCセミナー（10：00）
- 14日（火）運営会議（13：00）BCセミナー（オンライン）（15：00）
- 16日（木）BCセミナー（オンライン）（13：00）
- 17日（金）輸出力強化・研修（13：00）
- 21日（火）理事会（13：00）
- 22日（水）営担会議（10：30）
- 24日（金）BCセミナー（10：00）

### ●10月の行事等の予定

- 7日（火）輸出力強化Gリーダー会（13：00）
- 12日（火）運営会議（10：00）
- 13日（水）営担会議（10：30）
- 15日（金）輸出力強化・研修（13：00）
- 19日（火）理事会（13：00）
- 27日（水）営担会議（10：30）

## 一粒万倍

▼コロナ下の中、2020+1 TOKYO オリンピック・パラリンピックも無事終了したようです。ほとんどの会場が無観客で競技が行われた。しかし、パラリンピック競技においては、一部では教育の為と称し、学童の観戦が行われました。オリ・パラとも至る所で矛盾が生じていた。開催される迄は、国民もマスコミからも中止すべきとの声が多く聞こえましたが、いざ開催されると大きく取り上げられやれメダルが何個だとか、何処の国が勝利したとかみんなで騒いでいました。

▼9月3日（金）昼頃、菅義偉首相兼自民党総裁が、今月行われる自民党総裁選挙に立候補しないとのニュースが流れた。これは内閣総理大臣も辞職することである。安倍首相の後任として今年の9月に総理大臣に就任してわずか1年のことである。その理由が「コロナ対策に専念したい」とのこと。野党ではなく与党との戦いに敗北したのである。内閣支持率も発足当時は62%であったが最近では29%（NHK調査）迄下落していたし、「雇われ首相」であった。

▼新型コロナウイルスに関する「緊急事態宣言」の対象地域は現在21の都道府県に適用されています。さらに「まん延防止等重点地域」も12県に及んでいる。日本の主要33都道府県が何らかの規制を受けている。これらの規制は一応9月12日迄となっているが、菅首相が立候補しない自民党総裁と任期満了の衆議院議員の選挙が控えており、政局に振り回されています。19都道府県は「緊急事態宣言」は9月30日迄延期されました。対策は行き当たりばったりで、国民は宣言やまん延防止には慣れすぎになっておりその効果が期待されません。

▼病床や医療従事者の不足から、新型コロナ特にデルタ型の感染者が入院できず、自宅療養を強いられている。コロナワクチンの2回接種者も罹患すると言われている。そこで、「野戦病院」的な施設を早急に立ち上げなければならない時が来ているのではないか？

▼2019年（平成29年）4月、11人の死傷者が出た、池袋暴走事故で90歳の被告は東京地裁で禁固5年の実刑判決を受けた。被告は自分に過失はなく、アクセルとブレーキの踏み間違いではなく、車の故障であると突っぱねた。自分の経歴とプライドそれにメンツを維持するためであった。それだけの自信があるなら、ギアを抜くなり、サイドブレーキを引くなりの方があつたのではないか。その事件以降、高齢者に対する自動車の運転に「批判」が集中し、編集士もそのトバッチリを受けている。

編集後記：\* 栃木さん・金子さん寄稿ありがと御座いました。\* 船曳先生の寄稿も第11回を数え、今回も掲載させて頂きました。